

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(GDP (IMF WEO)): <http://mylibrary.maeda1.jp/GDP.html>)

(MENA・イスラム圏: <http://mylibrary.maeda1.jp/MenaOicCountries.html>)

マイライブラリー:0439

(注)本稿は 2018 年 4 月 25 日から 5 月 8 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

世界主要国とMENAの GDP 成長率 ・ 一人当たり GDP(IMF 2018 年 4 月版)

2018.5.10

前田 高行

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 2018/19 年の経済成長率	1
2. 前回(2017 年 10 月)と今回(2018 年 4 月)の比較	3
3. 2018年の各国の名目 GDP	4
(付)2017 年の名目 GDP 世界上位国と MENA)	5
4. 2018年の一人当たり GDP	5
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2015~2019年)	6

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 4 月版(以下 WEO2018Apr)がインターネット上に公開された。

* URL:

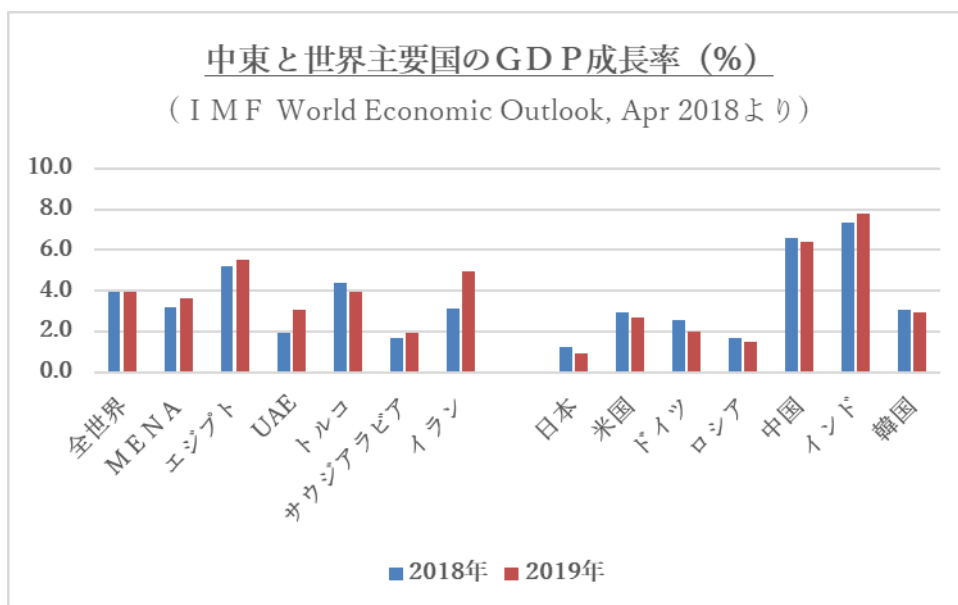
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2018/01/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2015 年から 2019 年(予測)までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2018 年 10 月版(以下 WEO2018Oct)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

(世界平均を下回る MENA の成長率！)

1. 2018/19 年の経済成長率(末尾表 1-B-2-08 参照)



(1) 世界および主要地域・国の経済成長率

IMF は今年(2018 年)の世界の経済成長率を 3.9%と見ており、来年(2019 年)も今年と同じ 3.9%と予測している。地域別に見ると ASEAN5 か国は今年の 5.3%から来年は 5.4%とやや上向く見通しであり、逆に EU は今年の 2.5%から来年は 2.1%に低下する見通しである。国別に見ると先進国は今年より来年の成長率の低い国が多く、日本は 1.2%→0.9%、米国は 2.9%→2.7%、ドイツは 2.5%→2.0%といずれも 0.3~0.5%低下し、中国は 6%台の高い成長率を維持するものの今年の 6.6%に対し来年は 6.4%と若干低下する見通しである。これに対してインドは今年の成長率は 7.4%であるが、来年はさらに高い 7.8%と予測している。

(2) MENA 諸国の経済成長率

IMF によれば MENA(中東北アフリカ地域)の成長率は今年の 3.2%に対し来年は 3.6%に上昇すると見込まれているが、両年とも世界平均の成長率を下回っている。国別にみると今年はいエメンのみがマイナス成長率(-0.5%)であるが、それ以外の国はいずれもプラス成長と見込まれている(シリアはデータなし)。

各国の中でリビアの今年の成長率は 16.4%と際立って高い。但し IMF の同国の経済成長見通しは毎回大きく上下に振れており、同国の GDP を左右する石油の生産量が内戦状況で大きく低下しており、昨年比で二桁成長が可能か否かは今後の推移を注視しなければならない。

MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが 4.4%→4.0%、イランは 3.1%→4.9%、エジプトは 5.2%→5.5%である。トルコ及びエジプトの今年の成長率は MENA 平均(3.2%)を上回っており、また来年はトルコが減速、イランとエジプトは加速すると見込んでいる。

これに対して歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存している GCC 諸国は今年の成長率がクウェイト 1.3%、サウジアラビア 1.7%といずれも 1%台の低い成長にとどまり、UAE2.0%、オマーン

2.1%、カタール 2.6%、バハレーン 3.0%である。GCC6 カ国の平均 2.1%であり MENA 平均 (3.2%)より1%以上低い。2019 年についてバハレーンを除く5カ国は今年を上回る成長率が見込まれており、6カ国平均でも 2.1%→3.0%に改善する見込みである。但しそれでも MENA 平均の 3.6%よりも低い成長率である。

(下方修正された GCC 諸国の成長率！)

2. 前回(2017年10月)と今回(2018年4月)の比較(末尾表 1-B-2-08 参照)

(2) 世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2018Apr)の全世界の成長率見通しは今年(2018年)、来年(2019年)共に 3.9%である。これに対して前回(WEO2018Oct)の見通しでは両年の成長率は共に 3.7%であり、両年とも前回より 0.2%上方修正されている。

2018年の見通しについて国・地域毎に前回と比較すると、国別では日本が 0.6%上方修正され 1.2%の成長率が達成されると見ている。このほか米国、ドイツ、中国、ロシア、韓国の各国もいずれも上方修正されている。特に米国とドイツはそれぞれ+0.6%、及び+0.7%と日本と同じ程度に上方修正されている。中国、ロシア及び韓国はわずかではあるが 0.1%上積みされている。インドは昨年 10月の見通しが踏襲されている。

来年 2019年の予測については全世界の成長率は昨年 10月の予測から 0.2%上方修正しており、日本は 0.8%から 0.9%にわずかではあるが見直しされている。中国も日本と同様昨年 10月における成長率予測 6.3%を今回は 6.4%としている。米国は前回の 2019年成長率予測 1.9%を今回は 2.7%へと+0.8%引き上げており、米国経済は今年から来年にかけて堅調に推移すると予測している。またドイツも前回(昨年 10月)の 2019年予測成長率 1.5%を今回の見通しでは 2.0%と強気の予測をしている。

(2) MENA 諸国

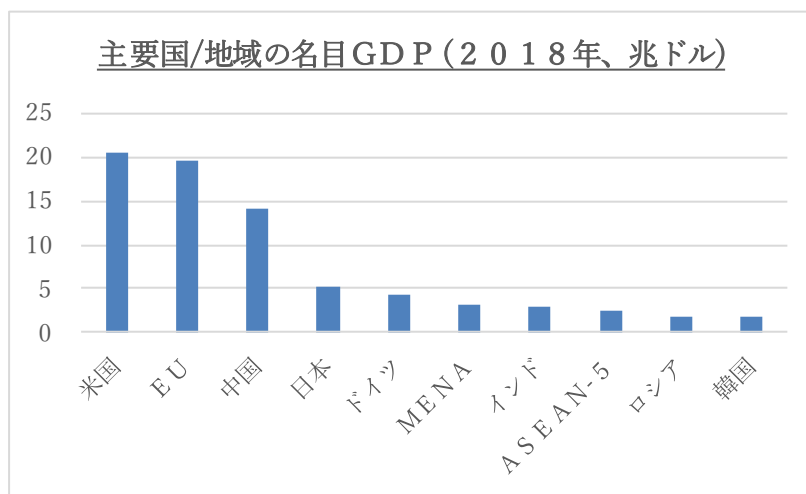
MENA地域の今年の成長率は前回(昨年 10月)の 3.2%に対し、今回も 3.2%と横ばいであるが、国別に見ると今年の成長率を前回より下方修正した国の数が多い。下方修正した主な国はリビア(31.2%→16.4%)、イエメン(8.5%→-0.5%)である。両国は内戦で経済が混乱状態にあり、GDP成長率は毎回上下に大きく振れており、IMFは予測に苦心しているようである。その他下方修正した国はクウェイト(4.1%→1.3%)、UAE(3.4%→2.0%)、イラン(3.8%→3.1%)、カタール(3.1%→2.6%)、オマーン(3.7%→2.1%)などの産油(ガス)国である。この結果、産油(ガス)国が多い GCC6カ国の今年の平均成長率も前回の 2.9%から今回は 2.1%に下落している。但し最大の産油国であるサウジアラビアの今年の GDP 成長率見通しは 1.7%であり前回の見通し 1.1%が上方修正されている。OPEC・非 OPEC の協調減産体制が今年末まで継続され、現在油価がバレル当たり 70ドル(Brent 原油)を超える状態で同国の歳入が堅調であることが背景にあると考えられる。

さらに来年(2019年)の成長率予測を今回と前回で比較すると、こちらは上方修正された国が多く、下方修正されたのはレバノン、チュニジア、UAE の 3カ国だけである。比較的大きく上方修正され

たのはイラク(1.7%→4.0%)、リビア(-0.8%→+1.4%)、イエメン(13.5%→17.9%)の各国である。リビア及びイエメンは既に述べた通り経済の改善が見通せないことが成長率の予測に大きな振幅を生んでいる。両国を除くと MENA の大半の国の来年の成長率は前回の見通しよりわずかながら改善する見通しである。

(米国の GDP は全世界の4分の1！)

3. 2018年の各国の名目 GDP(末尾表 1-B-2-09 参照)



IMF によれば今年の世界の名目 GDP(at Current Price)総額は88兆ドルである。地域別では EU が20兆ドル、全体の23%を占めている。また ASEAN5か国は2.5兆ドル(全体の2.9%)、MENA 地域は3.1兆ドル(同3.5%)である。

国別では米国が世界トップの20兆ドルで全世界に占める割合は23%、同国一国だけで世界の GDP の4分の1を生み出している。米国に次ぐ GDP 大国は中国の14兆ドルであり世界全体の16%を占めている。この2か国が世界でも突出している。日本は5.2兆ドルであるが、米国の4分の1あるいは中国の3割にとどまっている。EU の経済大国ドイツの GDP は4.2兆ドルであり、EU 全体の5分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.8兆ドル、ロシア及び韓国各1.7兆ドルなどである。

MENA 17カ国(エジプト、シリアを除く)の中で2018年の名目 GDP が最も大きい国はトルコの9,100億ドルであり、サウジアラビアが7,480億ドルで続いている。この2カ国が MENA 全体に占める比率はそれぞれ23%と19%であり、両国は MENA 諸国の中では突出している。第3位はイラクの4,190億ドル、第4位 UAE(4,120億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの半分程度にとどまっている。

5位以下11位まではイスラエル(3,740億ドル)、イラン(2,230億ドル)、アルジェリア(1,980億ドル)、カタール(1,840億ドル)、クウェイト(1,350億ドル)、モロッコ(1,210億ドル)であり、以上10カ国が年間 GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国とそん色のない GDP を誇っている。

GDP が1千億ドル未満の国は、オマーン(830億ドル)、レバノン(540億ドル)、リビア(440億ドル)、ヨルダン(430億ドル)、チュニジア(400億ドル)、パハレーン(380億ドル)、イエメン(140億ドル)である。MENA で GDP が最も小さいイエメンはトルコの60分の1程度である。

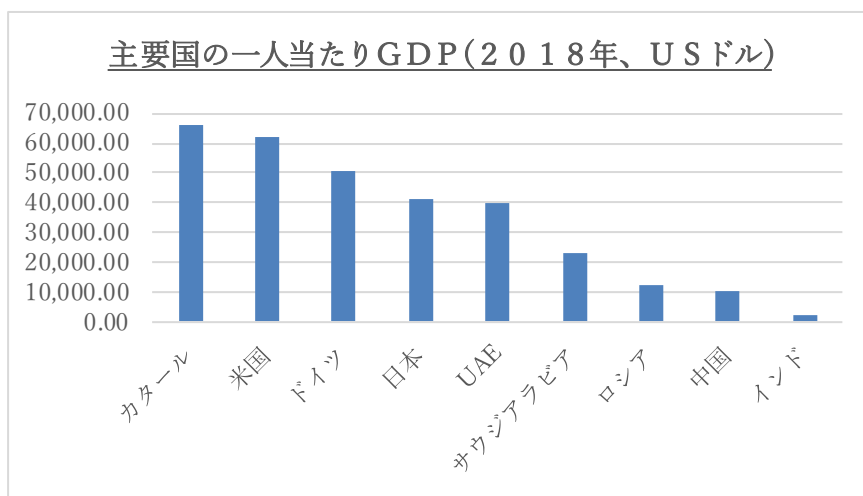
(付)2017年の名目 GDP 世界上位国とMENA)(末尾表 1-B-2-12 参照)

2017年の名目 GDP の世界ベストテンは第1位が米国、第2位中国であり、以下3位日本、4位ドイツ、5位英国と続き6位から10位まではインド、フランス、ブラジル、イタリア及びカナダの各国である。

MENA 諸国ではトルコが世界17位に入っており、サウジアラビアも19位にランクされている。このほかの MENA 諸国は20位以下であり、世界50位以内に入っているのはイラン(世界27位)、イスラエル(同32位)、エジプト(同45位)の3か国である。

(MENA で断トツのカタール！)

4. 2018年の一人当たり GDP(末尾表 1-B-2-10 参照)



日本の一人当たり GDP は40,849ドル、米国は62,152ドル、ドイツは50,842ドルである。米国は日本の1.5倍、ドイツは1.2倍である。また韓国は32,775ドルであり、米国の2分の1以下、日本の8割である。BRICsと呼ばれる有力新興国のロシア

ア、中国、インドはそれぞれ11,947ドル、10,088ドル、2,135ドルである。インドは今年7.4%、来年7.8%と中国を上回る高い成長率が見込まれているが(上記1. 2018/2019年の経済成長率参照)、一人当たり GDP はまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。

MENA 諸国の一人当たり GDP は各国間の格差が極めて大きい。LNG の輸出で潤うカタールの一人当たり GDP66,202ドルは米国をしのぎ日本の1.6倍で世界のトップクラスである。MENA で一人当たり GDP が1万ドルを超える国はカタールのほかイスラエル(42,115ドル)、UAE(39,484ドル)、クウェイト(29,880ドル)、バハレーン(25,547ドル)、サウジアラビア(22,650ドル)、オマーン(19,391ドル)、レバノン(11,775ドル)及びトルコ(11,114ドル)の9か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国は GCC 諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たり GDP は33,859ドルに達する。

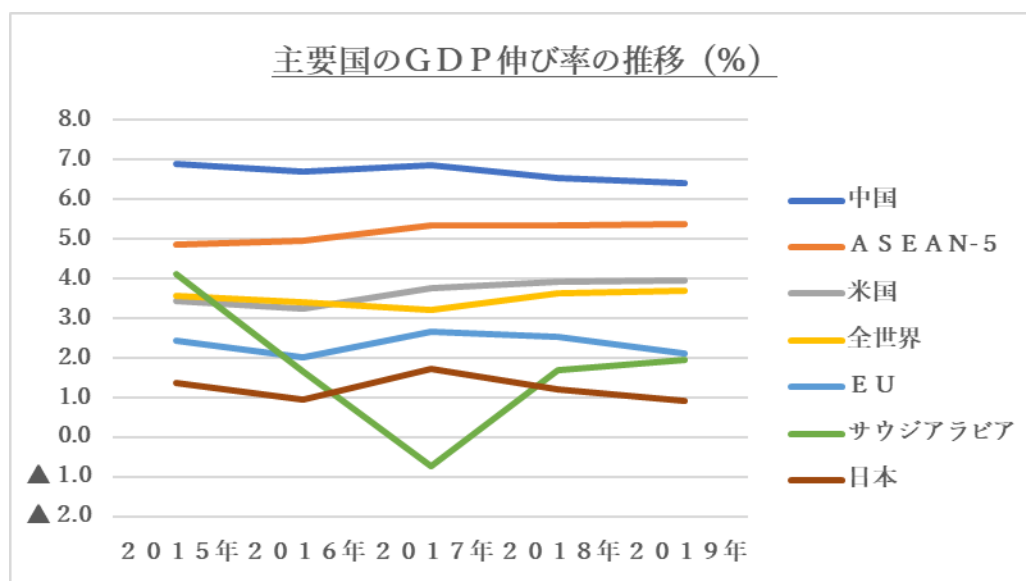
しかし同じ産油国でありながらイラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たり GDP が5千ドル前後であり、GCC と大きな格差がある。MENA で最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たり

GDP(449ドル)は実にカタールの150分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口についてGCC諸国の場合特に注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約280万人(WEO4月版による)で同国の一人当たりGDP66,202ドルは同国のGDP(1,840億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は50万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2015~2019年)(末尾表 1-B-2-11 参照)



(世界の平均成長率は3%台後半で推移、中国は6%台を維持！)

(1) 世界および主要な地域・国

2015年(実績)から2019年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台で推移しており今年及び来年は3.9%である。

地域別で見ると2015年に4.9%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後も他の地域を大幅に上回り、また年々成長率が高くなっている。今年及び来年は5.3%及び5.4%と予測されている。産油国を多く抱えたMENA地域は石油価格によって影響を受けやすく2015年の2.4%から2016年は4.9%まで上昇したものの2017年は一転して2.2%に減速、そして2018年は3.2%、

来年は3.6%になるものと予測されている。

主要国では日本の成長率は2015年の1.4%が2016年には0.9%に下落、2017年に1.7%に上昇した後、今年及び来年は1.2%→0.9%と低下する見通しである。いずれにしても成長率は1%前後にとどまっており、以下に述べるとおりインド、中国にははるかに及ばず、米国、ドイツなどと比べても見劣りする低い成長率にとどまっている。

米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じてほぼ2%台の成長を維持し、特に今年及び来年は2%台後半の視聴率が見込まれている。中国は2015年から2019年までの5年間を通じて6%台の高い成長が続くと見られているが、その成長率は2017年の6.9%から年々低下し来年は6.4%と予測されている。これに対してインドは5年間で8.2%(2015年)→7.1%(2016年)→6.7%(2017年)→7.4%(2018年)→7.8%(2019年)と2017年以外は中国の成長率を上回り、2017年を除き毎年7%以上の高い成長を維持している。ロシアは2015年(-2.5%)、2016年(-0.2%)と2年連続のマイナス成長に陥り、2017年以降漸くプラス成長に転ずる見込みである。

(成長率が急激に低下しているサウジアラビア)

(2) MENA諸国

MENAでGDPが最大のトルコは2015年(6.1%)及び2017年(7.0%)と高い成長率を示し、今年及び来年は4%台の見込みである。トルコに次ぐGDP大国で世界最大の産油国であるサウジアラビアの5年間の成長率(実績・予想)は4.1%(15年)→1.7%(16年)→マイナス0.7%(17年)→1.7%(18年見込み)→1.9%(19年予測)であり、2015年から2017年までは急激に成長率が低下している。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率は3.0%(15年)→2.4%(16年)→0.4%(17年)→2.1%(18年見込み)→3.0%(19年予測)と2017年を底に再び成長路線に戻ると予測されている。同じ産油国でもイランは2015年の4.8%から2016年には11.0%の高い成長を達成、しかし2017年にはマイナス成長に陥っている。今年及び来年は3~4%の成長率を回復する見通しである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

MENA と世界主要国の GDP 実質成長率(2018-19年)

国名	2018年4月見通し(今回)			2017年10月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)	増減	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)	2018年成長率(%)	2019年成長率(%)
アルジェリア	3.0	2.7	▲ 0.3	0.8	1.4	2.3	1.3
バーレーン	3.0	2.3	▲ 0.7	1.7	1.7	1.3	0.6
エジプト	5.2	5.5	0.3	4.5	5.3	0.8	0.2
イラン	3.1	4.9	1.8	3.8	4.0	▲ 0.7	1.0
イラク	4.0	4.0	▲ 0.0	2.9	1.7	1.1	2.3
イスラエル	3.3	3.5	0.2	3.4	3.0	▲ 0.1	0.5
ヨルダン	2.5	2.7	0.2	2.5	2.7	0.0	0.0
クウェイト	1.3	3.8	2.6	4.1	3.7	▲ 2.8	0.1
レバノン	1.5	1.8	0.3	2.0	2.5	▲ 0.5	▲ 0.7
リビア	16.4	1.4	▲ 15.1	31.2	▲ 0.8	▲ 14.7	2.2
モロッコ	3.1	4.0	1.0	3.0	4.0	0.0	0.0
オマーン	2.1	4.2	2.1	3.7	2.9	▲ 1.7	1.3
カタール	2.6	2.7	0.1	3.1	2.7	▲ 0.5	0.0
サウジアラビア	1.7	1.9	0.2	1.1	1.6	0.6	0.3
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	2.4	2.9	0.5	3.0	3.5	▲ 0.6	▲ 0.6
トルコ	4.4	4.0	▲ 0.4	3.5	3.5	0.9	0.5
UAE	2.0	3.0	1.1	3.4	3.2	▲ 1.4	▲ 0.1
イエメン	▲ 0.5	17.9	18.4	8.5	13.5	▲ 9.1	4.4
(GCC6カ国平均)	2.1	3.0	0.9	2.9	2.6	▲ 0.8	0.4
全世界	3.9	3.9	0.0	3.7	3.7	0.2	0.2
EU	2.5	2.1	▲ 0.4	2.1	1.8	0.4	0.3
ASEAN-5	5.3	5.4	0.0	5.2	5.3	0.2	0.1
MENA	3.2	3.6	0.4	3.2	3.2	▲ 0.0	0.5
日本	1.2	0.9	▲ 0.3	0.7	0.8	0.6	0.1
米国	2.9	2.7	▲ 0.3	2.3	1.9	0.6	0.8
ドイツ	2.5	2.0	▲ 0.5	1.8	1.5	0.7	0.6
ロシア	1.7	1.5	▲ 0.2	1.6	1.5	0.1	▲ 0.0
中国	6.6	6.4	▲ 0.1	6.5	6.3	0.1	0.1
インド	7.4	7.8	0.4	7.4	7.8	▲ 0.0	▲ 0.0
韓国	3.0	2.9	▲ 0.1	3.0	3.0	0.1	▲ 0.0

2018年 GDP at Current Price(2018年4月値)

(単位:10億ドル)

順位	国名	2018年	%	2017年	増減	増減率(%)
1	トルコ	910	22.5%	849	60	6.6%
2	サウジアラビア	748	18.5%	684	64	8.6%
3	イラク	419	10.4%	432	▲ 13	-3.1%
4	UAE	412	10.2%	377	34	8.4%
5	イスラエル	374	9.3%	351	23	6.2%
6	イラン	223	5.5%	198	26	11.4%
7	アルジェリア	198	4.9%	178	19	9.8%
8	カタール	184	4.6%	166	17	9.5%
9	クウェイト	135	3.4%	120	15	11.1%
10	モロッコ	121	3.0%	110	11	9.2%
11	オマーン	83	2.0%	74	8	10.1%
12	レバノン	54	1.3%	51	2	4.0%
13	リビア	44	1.1%	31	12	28.2%
14	ヨルダン	43	1.1%	40	2	4.9%
15	チュニジア	40	1.0%	40	0	0.1%
16	バーレーン	38	0.9%	35	3	7.8%
17	イエメン	14	0.3%	17	▲ 3	-19.3%
	エジプト	n/a	n/a	237		
	シリア	n/a	n/a	n/a		
	合計	4,038	100.0%	3,755	283	7.0%
	(GCC6カ国合計)	1,599	39.6%	1,457	142	8.9%
	全世界	87,505	100.0%	79,865	7,639	8.7%
	EU	19,670	22.5%	17,309	2,361	12.0%
	ASEAN-5	2,497	2.9%	2,319	178	7.1%
	MENA	3,062	3.5%	2,865	197	6.4%
	日本	5,167	5.9%	4,872	295	5.7%
	米国	20,413	23.3%	19,391	1,022	5.0%
	ドイツ	4,212	4.8%	3,685	527	12.5%
	ロシア	1,720	2.0%	1,527	192	11.2%
	中国	14,093	16.1%	12,015	2,078	14.7%
	インド	2,848	3.3%	2,611	237	8.3%
	韓国	1,693	1.9%	1,538	155	9.2%

2018年一人当たりGDP(2018年4月値)

順位		国名	USDドル
1	Qatar	カタール	66,202
2	Israel	イスラエル	42,115
3	UAE	UAE	39,484
4	Kuwait	クウェイト	29,880
5	Bahrain	バーレーン	25,547
6	Saudi Arabia	サウジアラビア	22,650
7	Oman	オマーン	19,391
8	Lebanon	レバノン	11,775
9	Turkey	トルコ	11,114
10	Libya	リビア	6,700
11	Jordan	ヨルダン	5,838
12	Iran	イラン	5,601
13	Iraq	イラク	5,086
14	Algeria	アルジェリア	4,669
15	Tunisia	チュニジア	3,463
16	Morocco	モロッコ	3,435
17	Yemen	イエメン	449
	Egypt	エジプト	n/a
	Syria	シリア	n/a
		GCC6カ国平均	33,859
		日本	40,849
		米国	62,152
		ドイツ	50,842
		ロシア	11,947
		中国	10,088
		インド	2,135
		韓国	32,775

Source: IMF World Economic Outlook Database Apr 2018

<http://www.imf.org/external/ns/cs.aspx?id=28>

GDP 対前年伸び率(%、2018年4月値)

国名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
アルジェリア	3.7	3.3	2.0	3.0	2.7
バーレーン	2.9	3.2	3.2	3.0	2.3
エジプト	4.4	4.3	4.2	5.2	5.5
イラン	4.8	11.0	-0.8	3.1	4.9
イラク	-1.6	12.5	4.3	4.0	4.0
イスラエル	2.6	4.0	3.3	3.3	3.5
ヨルダン	2.4	2.0	2.3	2.5	2.7
クウェイト	-1.0	2.2	-2.5	1.3	3.8
レバノン	0.8	1.0	1.2	1.5	1.8
リビア	-13.0	-7.4	70.8	16.4	1.4
モロッコ	4.6	1.2	4.2	3.1	4.0
オマーン	4.7	1.8	-0.3	2.1	4.2
カタール	3.6	2.2	2.1	2.6	2.7
サウジアラビア	4.1	1.7	-0.7	1.7	1.9
シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
チュニジア	1.1	1.0	1.9	2.4	2.9
トルコ	6.1	3.2	7.0	4.4	4.0
UAE	3.8	3.0	0.5	2.0	3.0
イエメン	-37.1	-34.3	-13.8	-0.5	17.9
(GCC6カ国平均)	3.0	2.4	0.4	2.1	3.0
全世界	3.5	3.2	3.8	3.9	3.9
EU	2.4	2.0	2.7	2.5	2.1
ASEAN-5	4.9	5.0	5.3	5.3	5.4
MENA	2.4	4.9	2.2	3.2	3.6
日本	1.4	0.9	1.7	1.2	0.9
米国	2.9	1.5	2.3	2.9	2.7
ドイツ	1.5	1.9	2.5	2.5	2.0
ロシア	-2.5	-0.2	1.5	1.7	1.5
中国	6.9	6.7	6.9	6.6	6.4
インド	8.2	7.1	6.7	7.4	7.8
韓国	2.8	2.8	3.1	3.0	2.9

2017年名目 GDP(世界上位20カ国と MENA 主要国)

<u>Rank</u>	<u>—</u>	<u>10億ドル</u>	<u>%</u>
1	米国	19,390.60	24.3%
2	中国	12,014.61	15.0%
3	日本	4,872.14	6.1%
4	ドイツ	3,684.82	4.6%
5	英国	2,624.53	3.3%
6	インド	2,611.01	3.3%
7	フランス	2,583.56	3.2%
8	ブラジル	2,054.97	2.6%
9	イタリア	1,937.89	2.4%
10	カナダ	1,652.41	2.1%
11	韓国	1,538.03	1.9%
12	ロシア	1,527.47	1.9%
13	オーストラリア	1,379.55	1.7%
14	スペイン	1,313.95	1.6%
15	メキシコ	1,149.24	1.4%
16	インドネシア	1,015.41	1.3%
17	トルコ	849.48	1.1%
18	オランダ	825.745	1.0%
19	サウジアラビア	683.827	0.9%
20	スイス	678.575	0.8%
27	イラン	431.92	0.5%
32	イスラエル	350.609	0.4%
45	エジプト	237.073	0.3%
54	イラク	197.699	0.2%
56	カタール	166.326	0.2%
		79,865	100.0%